

愛知県知事 大村秀章 殿

法人所在地 愛知県岡崎市美合町平端 24-45

法人名 学校法人 三鈴学園
(代表者職氏名) 理事長 宮地 宏江

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	東海医療技術専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ 専門学校)
大学等の所在地	愛知県岡崎市美合町字平端 24-45
学長又は校長の氏名	校長 嶋崎 宏紀
設置者の名称	学校法人 三鈴学園
設置者の主たる事務所の所在地	愛知県岡崎市美合町字平端 24-45
設置者の代表者の氏名	理事長 宮地 宏江
申請書を公表する予定のホームページアドレス	www.tokai-i.ac.jp/index.htm

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 平岩昌平	0564-57-1551	s_hiraiwa@tokai-i.ac.jp
第2号の1	教務 稲垣信司	0564-57-1551	s_inagaki@tokai-i.ac.jp
第2号の2	事務局 平岩昌平	0564-57-1551	s_hiraiwa@tokai-i.ac.jp
第2号の3	教務 稲垣信司	0564-57-1551	s_inagaki@tokai-i.ac.jp
第2号の4	事務局 平岩昌平	0564-57-1551	s_hiraiwa@tokai-i.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 () を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料

確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	H123310000927	学校名	東海医療技術専門学校
設置者名	学校法人 三鈴学園		

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	333,533,481円	231,443,605円	102,089,876円
申請2年度前の決算	331,001,485円	218,505,899円	112,495,586円
申請3年度前の決算	321,388,104円	210,047,769円	111,340,335円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,214,545,432円	52,088,576円	1,162,456,856円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	240人	232人	96%
前年度	240人	248人	103%
前々年度	240人	248人	103%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
特定資産	退職給与引当特定資産、施設拡充引当特定資産	436,900,102円
その他の特定資産	有価証券	30,000円
流動資産	現金預金	777,615,330円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
固定負債	長期借入金	43,750,000円
流動負債	短期借入金	6,250,000円
流動負債	未払金	2,088,576円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東海医療技術専門学校
設置者名	学校法人 三鈴学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	診療放射線科	夜・通信	58 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務局に設置

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東海医療技術専門学校
設置者名	学校法人 三鈴学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物（事務局内）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	皮膚科医	2年 R4.3.25～ R6.3.24	理事（公正な意見）
非常勤	小児科医	2年 R4.3.25～ R6.3.24	理事（公正な意見）
非常勤	幼稚園教諭	2年 R4.3.25～ R6.3.24	理事（公正な意見）
（備考） 評議員会、理事会にて役員選出			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東海医療技術専門学校
設置者名	学校法人 三鈴学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>・診療放射線技師養成所指導要領に則り、教務主任が立案。教務会議及び職員会議を通じて授業計画を作成する。新1年生は入学ガイダンス時(4月12日)に公表。新2・3年生については、進級後、最初のガイダンス(4月11日)(4月13日)で公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	講義便覧に載せ、ガイダンス時に配布
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>単位授与又は履修認定において、次の方法により、厳格かつ適正な実施状況である。(あらかじめ設定した成績評価の方法・基準による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠席の確認の徹底 ・中間試験、本試験、小テストの実施 ・レポート作成、実技試験 ・学習意欲、授業態度等 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA等の客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法、実施状況など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験の結果等を評価し、合格及び不合格とする。合格を分けて、優、良、可として公表している。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>点数を随時発表、教務室にて。刊行物有</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針の具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該学年に課せられた授業科目に合格し、かつ、総合試験に合格した者は全授業科目の修得を認め、所定の単位を与え、卒業とする。 <p>卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務会議を実施、判定会議にて承認 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>教務室にて。刊行物（卒業判定名簿）</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東海医療技術専門学校
設置者名	学校法人 三鈴学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物（学園本部事務室にて）
収支計算書又は損益計算書	刊行物（学園本部事務室にて）
財産目録	刊行物（学園本部事務室にて）
事業報告書	刊行物（学園本部事務室にて）
監事による監査報告（書）	刊行物（学園本部事務室にて）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	診療放射線科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	103 単位	2370 時間		765 時間		
			3135 時間の 103 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		232 人	0 人	10 人	17 人	27 人	

* 開設している授業の種類については、実習と講義を併せ単位を認定している。その為、時間数と総単位数を記入。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・診療放射線技師養成所指導要領に則り、教務主任が立案。教務会議及び職員会議を通じて授業計画を作成する。新1年生は入学ガイダンス時（4月12日）に講義便覧に載せ公表。新2・3年生については、進級後、最初のガイダンス（4月11日）（4月13日）で講義便覧に載せ公表。
成績評価の基準・方法
（概要）・単位授与又は履修認定において、次の方法により、厳格かつ適正な実施状況である。（あらかじめ設定した成績評価の方法・基準による）・出欠席の確認の徹底、中間試験、本試験、小テストの実施、レポート作成、実技試験、学習意欲、授業態度等
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定に関する方針の具体的な内容と実施状況 ・当該学年に課せられた授業科目に合格し、かつ、総合試験に合格した者は全授業科目の修得を認め、所定の単位を与え、卒業とする。 ・教務会議を実施、判定会議にて承認
学修支援等
（概要） ・授業後に個別対応、カウンセリング実施。補習授業を実施し学力サポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
54人 （100%）	1人 （2%）	52人 （96%）	1人 （2%）
（主な就職、業界等） 国立病院、公立病院、私立病院、検診機関			
（就職指導内容） 求人情報の提供、業務へのアドバイス、就職活動のすすめ			
（主な学修成果（資格・検定等）） 放射線技師国家試験受験資格取得、4年度国家試験合格率 98.1%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
248人	12人	4.8%
（中途退学の主な理由） ・進路変更、金銭的に苦しい、学力不足等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・放射線技師の重要性、生涯設計の提案、奨学金等の奨め、個別補習等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
診療放射線科	300,000 円	800,000 円	380,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所にて閲覧可能 (刊行物) 診療放射線技師養成所自己点検表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・教育目標、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、募集、財務、法令、国際交流、社会貢献を評価項目とする。 ・卒業生 (放射線技師) の中から評議員会及び理事会にて委員を選出 (本年度)、会議を実施する。 ・学校評価をまとめ、理事会及び職員会議にかけ、より良い学校をめざす。(令和2年度より実施)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋掖済会病院	2 年 (再任できる) (R4. 4. 1~R6. 3. 31)	(診療放射線技師)
安城更生病院	2 年 (再任できる) (R4. 4. 1~R6. 3. 31)	(診療放射線技師)
豊田刈谷総合病院	1 年 (再任できる) (R5. 4. 1~R6. 3. 31)	(診療放射線技師)
JA 岐阜厚生連	2 年 (再任できる) (R4. 4. 1~R6. 3. 31)	(診療放射線技師)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 刊行物 (2019年度分より事務室にて閲覧)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 刊行物 (事務室、教務室にて閲覧)
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H123310000927
学校名	東海医療技術専門学校
設置者名	学校法人 三鈴学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		23人	20人	43人
内 訳	第Ⅰ区分	12人	11人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				43人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。